


川本町観光ガイド

KAWAMOTO GUIDE BOOK





可憐に咲き乱れる野花のような

素朴な笑顔が迎えてくれる

この町の魅力は、この町に住む人たち

行き交う誰もが挨拶を交わし

通り過ぎる車に道を譲る

表通りを駆け回る子どもたちと

それをやさしく見守る大人たち

かつてはこの国のどこにでもあった

懐かしい記憶の中の風景

有名な観光スポットなんてなくても

ここには大切なものが溢れていて

だからまた、この町を訪れたいくなる

この町の人たちに会いに来たいくなる

川本町のこと	P-04
アクセスマップ	P-05
川本町の四季	P-06
川本町と三江線	P-08
川本町の見所	P-10
町内散策マップ	P-12
川本町での食事	P-14
川本町での宿泊	P-20
川本町でのお買物	P-22

春の妖精 **イズモコバイモ**

Fritillaria ayakoana

イズモコバイモは、絶滅危惧種に指定されている島根県だけに自生するユリ科の多年草です。3月上旬から4月上旬にかけて、茎の先から一輪の可憐な白い花を下向きに咲かせ、その愛らしい姿から「春の妖精」と呼ばれています。川本町の谷戸地区は、希少な群生地として全国に知られ、開花期には県内外から多くの人々が訪れます。

石見銀山の玄関口

島根県川本町は、健康食品であるエゴマの栽培で知られる人口約3,200人の小さな町です。面積の約81%を山林が占める典型的な中山間地域でありながら、町を縦貫する「江の川(ごうのかわ)」の水運により、古くは石見銀山の玄関口として栄え、石見地方の要所、「交流の町」として発展しました。

島根県の中央に位置し、出雲大社や三瓶山、鳴り砂で知られる琴ヶ浜や秘湯温泉津温泉など近隣観光地へのアクセスも便利です。

緑にこだます音楽の里

吹奏楽が盛んな川本町は、全国でも珍しい音楽をテーマとしたユニークなまちづくりに取り組んでおり、昭和60年に「音楽の町」を宣言。町内に石見地方屈指の音楽ホールを備えた「悠邑ふるさと会館」を有し、オーケストラや著名歌手によるコンサートも開催されています。

楽器や音符をモチーフとしたデザインの見板やモニUMENTが町のあちこちに見られ、音楽への深い愛情を感じるこゝができます。



昭和レトロな弓市商店街

昭和47年の水害により、甚大な被害を受けた町の中心地である弓市地区には、店や家を失った町民らのためのコンクリート造の建物が立ち並びます。



町が建築した建物には、ナンバリングが施されており、レトロな店並みとともに独特の雰囲気を感じることができます。

一級河川「江の川」

中国太郎の異名を持つ中国地方最大の河川「江の川」は、全長約200km。島根県側では「ごうがわ」とも称され、広島県北部の阿佐山に水源を発し、中国山地を横切るようにして日本海に注ぎます。古くから山陽と山陰を結ぶ「交易の要路」とされ、たたら製鉄や石見銀山の発展に伴い舟運も発達しました。

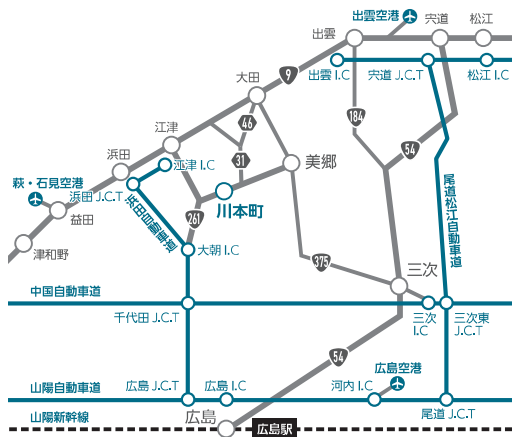
全国第2位の数を誇る支流には、断魚溪や千丈溪などの名勝も多く、夏には川遊びや魚釣り、カヌーを楽しむ人々が賑わいます。浜原ダム建設により、上流では目にするこゝとがなくなった回遊魚(サケ)の遡上も、川本町では見ることができません。





- 松江城 約2時間
- 宍道湖 約1時間45分
- 出雲大社 約1時間45分
- 世界遺産 石見銀山 約30分
- 温泉津温泉 約40分
- 琴ヶ浜 約45分

- 国立公園 三瓶山 約40分
- 瑞穂ハイランド 約40分
- 石見海浜公園・しまね海洋館アクアス 約1時間
- 匹見峡 約1時間45分
- にちはら天文台 約2時間30分
- 日本遺産 津和野 約2時間30分



● 飛行機

- 広島空港から車で約2時間
- 出雲(縁結び)空港から車で約2時間
- 萩・石見空港から車で約2時間(羽田発着便)

● 新幹線

- JR広島駅から大田行きバス「石見銀山号」で約1時間50分

● 自動車

- 浜田自動車道「大朝I.C.」から車で約40分

広島・浜田間を結ぶ高速路線バスのほか、関西方面などからは浜田行・出雲行の高速バス(昼行・夜行)が運行されています。

桜並木と山桜

堤防沿いの桜並木と折り重なるようにして咲く煌びやかな山桜。毎年この時期には「桜まつり」が開催され、多くの家族連れで賑わい、場所取りに追われることなく、贅沢にお花見を愉しむことができます。



ホタルと竹灯籠

豊かな自然が残る川本町では、町内のいたるところで野生のホタルを見ることが出来ます。そんな素晴らしい自然環境を後世に伝えたいと、移住者らの発案で始まったのが、田窪の「ホタルまつり」。暗闇に舞う幻想的な光の饗宴に心を奪われます。



夏の風物詩

毎年恒例の夏祭り「ええなあまつりかわもと」のフィナーレを飾る「江の川名物花火大会」は山間部ならではの臨場感で迫力満点。山々に響く轟音とともに夜空に大輪の花を咲かせる打ち上げ花火と江の川に浮かぶ灯籠が、幻想的な雰囲気をつくり出します。



三原の田園風景

町の中心部から少し離れた三原地区には、古き良き日本の原風景の面影を今に残す美しい田園風景が広がります。朝晩の寒暖の差が激しくなる春先や秋口には、車ですり上り近まで行くことができる円山から、雲海を望む絶景を目にすることが出来ます。





山野の紅葉

手つかずの自然が織りなす川本町の秋の情景は、山々を染める色彩が「江の川」の水面に映し取られ、見渡すかぎりの紅葉に包まれます。キャンプやハイキング、江の川沿いをサイクリングするのに最高のロケーションです。



満天の星

夜空を埋め尽くす満天の星々は、人口衛星が肉眼で確認できるほどの美しさ。石見地方は、本州随一の星の観測地としても知られており、三瓶山の「島根県立三瓶自然館 サヒメル」では、毎週土曜日に天体観察会が開催されています。



雪化粧の川本東大橋

毎年ある程度の積雪が見込まれる川本町では、冬には美しい雪景色を眺めることができます。車で40分ほどのところにある「瑞穂ハイランド」は、西日本有数のゲレンデとして知られ、コース数も充実。初心者から上級者までスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツを楽しめる人気スポットです。

EVENTS SCHEDULE

3月

イズモコバイモ祭り
桜まつり

4月

春祭り因原交流神楽大会

6月

田窪ホタルまつり

7月

三原田植えばやし
ええなあまつりかわもと
(江の川名物花火大会)

8月

因原ふるさと祭り(花火)

9月

川本町神楽共演大会

11月

産業祭
きんさいまつり



川本町の町章

江の川と三江線

JR三江線は、全長約108km、広島県三次市と島根県江津市を結ぶJR西日本のローカル線で、全線のひとつを「江の川」に沿って建設されました。沿線の雄大な景色は、見るものを飽きさせない自然美を誇り、平成27年に全線開通40周年を記念して定められた「江の川鉄道」の愛称とともに、沿線住民や全国の多くの鉄道ファンに親しまれました。



写真提供／三江線活性化協議会

三江線の歴史

三江線の建設計画は大正時代にまで遡り、昭和50年の全線開通まで、実に半世紀以上の歳月がかかっています。その長い歴史は、災害との戦いでもあり、全線開通後も度々豪雨被害に見舞われながら、その都度復旧を果たしてきました。全国的にも珍しい8ヶ所もの「陸閘門」を整備し、水害から人々を守ってきました。



写真提供／三江線活性化協議会

三江線の名所

山間を縫うように走る三江線には、日本一の高さを誇り、天空の駅として知られる「旧宇都井駅」をはじめ、線路沿いを歩いて渡れる珍しい鉄道橋（「旧粕淵駅」近く）や映画のロケ地ともなった木造駅舎（「旧川平駅」）など、数多くの名所があり、桜並木や水田、紅葉に雪景色など、車窓から覗く美しい景色が、四季を通じて乗客らの目を楽しませてきました。



写真提供／三江線活性化協議会

三江線

.3.31



廃線に揺れる町

日本一利用者が少ない鉄道として、過去幾度となく廃線の危機にさらされてきた三江線でしたが、平成28年9月、ついにJR西日本より鉄道事業の廃止届が提出され、平成30年4月1日をもって廃止されるのが正式に決定しました。廃止決定後は、その最後の勇姿を一目見ようと、全国から鉄道ファンが詰めかけ、連日多くの乗客で賑わいました。



ありがとう 2018

三江線ラストラン

運行最終日には、沿線各地で記念式典が行われ、多くの住民がその別れを惜しみ、最後の車両を見送りました。一部区間開通から約88年の長きに渡り、沿線市町とともに歩んできた三江線の歴史に幕が降りたのです。国鉄時代を含め、路線距離が100kmを超える鉄道路線の全線廃止は本州で初の事例となりました。



鉄道遺産

廃線後の各沿線市町では、三江線を貴重な「鉄道遺産」として観光などに活かそうと様々な取り組みが為されています。川本町では、「旧石見川本駅」の駅舎で「島根中央信用金庫川本支店」が営業を行っています。また、待合室やホームを利用したワークショップやコンサートの開催、使われなくなったレールの上に原動機付レールバイクを走らせるイベントなどを企画し、観光資源としての駅舎の利活用積極的に取り組んでいます。



ゆたに
湯谷温泉
みせん
弥山荘

弥山荘は、山間に佇むナトリウム塩化物泉の立ち寄り天然温泉施設です。この地は、かつて名立たる戦国武将がその傷を癒やした湯治場であったと伝えられています。その効能は、擦り傷や関節の痛みを和らげるだけでなく、皮膚乾燥症等にも効果があると考えられています。施設内の売店では、町内外の特産品を購入することができます。



川本町大字湯谷781-2 営業/10:00~20:00

㊤ 定休(祝日の場合は翌日)・大晦日

☎ 0855-72-2645

観光協会
協賛店

ほろしやうざん
室重山
長江寺

かつてこの地を治めた石見小笠原氏の菩提寺である長江寺には、第12代小笠原長隆が、時の將軍足利義植から拝領したとされる珍宝「猿頭の玉枕」が納められており、この枕で眠ると「悪夢を喰らい、吉夢を見せる」と伝えられています。秋になると境内を埋め尽くす黄金色の銀杏の絨毯が、参拝客らを出迎えます。

(見頃/11月上旬)



㊤ 長江寺 川本町大字湯谷783

☎ 0855-72-1150

町指定
有形文化財

丸山城跡

丸山城は、天正13年(1585年)に当時の石見銀山の支配に深く関わったとされる石見小笠原氏の第15代小笠原長隆が築いた連郭式の中世山城です。標高482mの円山頂上部を主郭とする城郭は、本丸と西の丸を中心に10あまりの郭群で構成され、石見国としては非常に珍しい総石垣の城郭でした。現在は、石垣の跡などその僅かな面影を残すのみですが、雲海を望む絶景スポットとして知られています。



㊤ 川本町教育委員会(教育課文化振興係)

☎ 0855-72-0594

県指定
史跡

田植えびやし

かつてこの地を治めた石見小笠原氏が、築城の祝いと五穀豊穡を祈って始めたといわれる「小笠原近重流 三原田植囃子」は、400年以上の歴史を持つ民俗芸能です。



江川太鼓

川本町を代表する郷土芸能団体である江川太鼓は、昭和47年の結成以来、「ドイツやデンマークなど、多数の海外公演も行っている和太鼓チームです。



米食い岩

町の中心部を見下ろす巨大な岩。名前の由来は諸説ありますが、米食い岩の伝説は、この地域に伝わる民話として、地元の人々に親しまれています。



石州瓦

独特の赤褐色で知られる石州瓦は、400年の歴史を持つ日本三大瓦の一つ。山々の緑にやさしく調和する赤瓦の家並みは、この地方ならではの情景です。



金比羅公園

満開時には山の斜面がピンクに染まる桜の名所として知られています。町を見下ろす小高い丘の上であり、頂上まで車で行くことができます。



弓ヶ峯八幡宮

天福元年(1233年)小笠原長親によって建立されました。境内には、「創天稚輪記」の碑があり、この地がかつて「たたら製鉄」が盛んであったことを物語っています。



南佐木 正蓮寺

楼門の建立は、寛永4年(1751年)と伝えられ、石見三大門の一つと呼ばれています。境内にある経堂も貴重な建物で、ともに町の文化財に指定されています。



臨流山 仙岩寺

安土桃山時代に建立された仙岩寺城山の山腹にある曹洞宗のお寺。200段以上の石段を登って境内にたどり着くと、江の川と市街地が眼下に広がります。



町指定
有形文化財

石見神楽

古事記・日本書紀などの神話をもとにした演目で、迫力ある舞やお囃子が特徴の石見神楽。「神事」でありながら「芸能」としての要素も色濃く、重厚な舞の「六調子神楽」や軽快なリズムが特徴の「八調子神楽」など、川本町には複数の社があり、お祭りやイベントなどで上演を行っています。特別出張のご依頼も可能です。(有料)



↑大田〈至出雲・松江〉

ご案内は、おまかせください!

川本町観光協会 ☎ 平日/9:00-17:00 〈土・日・祝日定休〉

〒696-0001 島根県邑智郡川本町大字川本608-1

☎ 0855-74-2345 📠 0855-74-2110

🌐 <https://kawamoto-kankou.jp>

✉ otoiwase@kawamoto-kankou.jp

川本町観光協会



P.19 弓市商店街エリアマップ

市井原
ユキワリイチゲ

日本固有種で、早春に20cm前後の花茎を立て、淡紫色の花(萼)をつけます。花言葉は「しあわせになる」。開花/3月上旬〜4月上旬頃





ふれあい公園 笹遊里
ササユリ
 10〜15cmほどの薄いピンクの花には強い香りがあり、名前の由来となっている厚い葉はササの形に似ています。
 (開花／6月〜7月頃)



町指定
 天然記念物

谷戸
イズモコバイモ
 絶滅危惧種にも指定されているユリ科の多年草。島根県だけに自生し、川本町の谷戸地区は、希少な群生地として知られています。



PICK UP
 EVENT

アウトドア イベント
 町内のキャンプ場を使用したワンデイキャンプイベントが開催されます。お気に入りのテントを持ち寄り、広い芝生の上で思いっきり遊び、大自然を満喫することができます。



PICK UP
 EVENT

子育てサークル イベント
 町内の子育てサークルによるイベントが月に1度のペースで開催されています。親子連れを対象とした川遊びやハロウィン行事、子ども服の交換会など、大人も子どもも楽しめるイベントとして人気です。



PICK UP
 EVENT

駅ヨガ
 廃線となった三江線跡地を活用したヨガ体験イベント。地元インストラクター指導のもと、遠く伸びる線路を眺めながらのヨガは、非日常を体感でき、健康はもちろんな心にも安らぎを与えてくれます。



昭和40年創業。旧石見川本駅前、二等地で半世紀以上、町の盛衰を見守ってきた老舗のお寿司屋さんですが、現在はお寿司の取り扱いはありません。三江線への思い入れが深く、鉄道ファンの間では聖地のような場所となつています。乗客向けに考案したというセットメニューが好評で、うどんやそばとの組み合わせも。おすすめの鮎の塩焼きは、店主自慢の逸品です。

新栄

川本町大字川本613-2 [MAP P.18](#)

営業 11:00~14:00・17:00~21:00

☎ 0855-72-0021

観光協会
協賛店

不定休



お店を一人で切り盛りする名物女将は、数え歳で御年80歳。今でもつくるだけなら、百人分の仕出しもこなすというから驚きです。採算度外視の「ちらし鮎」は、汁物とフルーツが付いて1000円というお値打ち価格。特に決まったメニューはなく「なんでも言って」という素朴なスタイルで、値段交渉もその場でのだとか。田舎ならではの雰囲気味わいたいという方にはオススメです。

鮎 ふくや

川本町大字川本524-16 [MAP P.18](#)

営業 予約制

☎ 0855-72-0079

観光協会
協賛店



弓市商店街にある、この辺りでは珍しい韓国風創作居酒屋。10年前にUターンした店主が一人で切り盛りする店内はシックな雰囲気でお食事だけの利用も可能。中高生や女性客、ご予約の各種宴会など幅広い層に利用されています。テイクアウトのメニューも豊富に取り揃えており、おすすめは若鶏チヂミと石見ポークのビンパン丼。程よい辛さ旨味が食欲をそそります。

創作Dining 岩見屋

川本町大字川本617-9 [MAP P.18](#)

営業 17:00~22:00 ㊤ ㊤ 定休

☎ 0855-72-1234

観光協会
協賛店



平成29年12月にオープンしたばかりの手打ちそば屋さん。広々とした店内には座敷席もあり。高山蕎麦道場で修行したスタッフが、丹精込めて打った生そばを割りやぎるで頂きます。温かいおそばには、自家製煉製炙り鮎を使用した出汁が絶妙にマッチ。皮にそば粉を練り込んだそば餃子も人気です。そば打ち体験やわんこそば、仕出し・弁当の予約も可能とのこと。



皆んな来た道 きたみち庵

観光協会
協賛店

川本町大字川本577

MAP P.18

営業 11:00~14:00 (L.O. 13:30) ㊤ 定休

☎ 0855-72-0016 ※そばが無くなり次第終了



先代からお店を引き継いで約20年。古き良き時代の面影を店内に残す町内唯一のスナック店です。酸いも甘いも知り尽くしたママさんと酌み交わす夜の味わいは、まさにディーブカワモト。地元の方々にとっては、お決まりの二次会の場でもあります。呑んで歌って羽目を外すもよし、カウンターでしっぽりやるもよし。毎月15日の飲み放題デーのほか、料金も柔軟にご対応頂けるそうです。



スナック 喫茶ボン

観光協会
協賛店

川本町大字川本571

MAP P.18

営業 ㊤・㊦・㊧ 13:00~15:00

㊨~㊩ 19:00~24:00 ㊤・㊦ 定休

☎ 0855-72-0987



元気印の女将さんは、この店の3代目。創業はなんと昭和27年です。中華や洋食などバラエティーに富んだメニューは、どれもボリューム満点で、一番人気の「マジカルオムライス」は、遠方から訪れるファンもいるほど。限定販売のスイーツも評判で、中でも「えごまサブレ」は、日持ちもするので、町の新たなお土産品として人気です。月に一度、パスタの専門店「リストランテふくむら」に大変身します。



ふくむら食堂

観光協会
協賛店

川本町大字川本633-2

MAP P.18

営業 ㊤~㊩ 11:00~14:00 ㊤・㊦ 定休

☎ 0855-72-0246 (FAX兼用) ※平日夜は予約制



広島で修行されたご主人が店を出されて14年。町内にいながら本場の味が愉しめるとあって、家族連れにも人気の広島流お好み焼き屋さんです。創業以来変わらずぬすこしと麺は、店主のこだわり。寡黙さと手際の良さに味への自信を覗かせます。大人数にも対応可能な座敷を備え、アルコールも充実。自家製ダレに漬けたんだカルピヤホルモンなどの鉄板焼きも人気です。

観光協会
協賛店

お好み・鉄板焼 かんちゃん

川本町大字川本541-6 [MAP P.19](#)
 営業 11:30~14:00/17:00~21:30 ㊟ 定休
 〳 0855-72-2456 (L.O. 21:00 予定)



地元町民御用達の大衆居酒屋。地域活動にも積極的な2代目店主の手柄を慕って、若者の姿も多く、初めて同士で酒を酌み交わすシーンもしばしば見られます。地元高校生らと共同開発したえごま丼と自家製チャーシューのラーメンが人気。組み合わせの定食もあり、早い時間帯には家族連れも多いとか。時間を気にせずゆっくり吞める、川本の深夜食堂です。

観光協会
協賛店

川本食堂

川本町大字川本541-3 [MAP P.19](#) ㊟・㊞ 定休
 営業 ㊟~㊞ 12:00~13:00/㊟~㊞ 17:00~23:30
 〳 0855-72-1370 ※土曜日は夜のみ営業



店名には「茶や」とありますが、食事のメニューが非常に充実したお食事処で、平日の日替定食が人気です。不定休ながら、日曜・祝日も営業していて、アルコール類も取り扱っていることから、地元単身者の食生活を支える貴重な存在。寡黙なマスターとそれに寄り添う奥さまの佇まいが素敵です。食事の後は、本格サイフォン珈琲(＋200円)でゆったりとしたひとときをどうぞ。

観光協会
協賛店

茶や春夏秋冬

川本町大字川本541-7 [MAP P.19](#)
 営業 9:00~14:30 ㊞ 定休
 〳 0855-72-1452 ※夜は予約のみ



かわもとおとぎ館の本格レストラン。ランチは、自家製の窯焼きピザ、2種類のバスタにドリンク&フレッシュサラダ、焼き立てパンピュッフェが付けられます。事前予約制のディナーは、3種のコースにワインも選べる飲み放題メニューも。異国情緒溢れる店内で贅沢なお食事を愉しみながら、併設するプールを使った光の演出などに非日常を体感できる空間です。

かわもとおとぎ館

レストランおとぎ

観光協会
協賛店

川本町大字川本332-13 [MAP P.19](#) 営業 水～土 11:30～14:00(L.O. 13:30) / 17:00～21:00 日～火 定休
☎ 0855-72-3080 ※ディナー要予約(3日前まで)



「色々な世代の方々が集う場所(ハコ)をつくりたい」という店主の想いから、オープンしたカフェ。セリフリノベージを施した店内は、木のぬくもりが感じられる心落ち着く空間です。オススメのハンドドリップコーヒーはテイクアウトも可能。無線LANと電源を備えたコーキングスペースや人工芝のキッズスペースがあり、お子様連れの方も気軽にご利用頂けます。

観光協会
協賛店

カフェ Irohaco

川本町大字川本509-5 [MAP P.19](#)
営業 金～土 11:00～18:00 日～水 定休
☎ 070-4479-4647 ※宴会は要予約



道の駅「インフォメーションセンターかわもと」の店頭に新しくオープンした「piccolusso」(ピッコルッソ)は、町内唯一のスイーツ専門店です。特産品の「えごま」を使った焼き立てアップルパイやこだわりの特製ジェラートが大人気。地元出身の有名パティシエが監修した絶品スイーツは、日々のご褒美やお土産にと幅広い年代のお客様に大変喜ばれています。

観光協会
協賛店

piccolusso

川本町大字因原505-5 [MAP P.12](#)
営業 10:00～16:00 日 定休(祝日の場合は翌日)
☎ 0855-72-1111



道の駅館内にあるレストランですが、実はこの場所です。前から営業されていたか。なるほど道の駅らしからぬ？メニューの豊富さ、お料理の美味しさにも頷けます。人気は、石見ポークの生姜焼き定食と石見和牛の焼肉丼で、どちらもこの土地ならではの食材を活かした逸品。お昼時には、平日でも満席となる盛況。振りに道の駅の利用者だけでなく、地元の方にも支持されていることがうかがえます。

道の駅 インフォメーションセンターかわもと レストランいんふお

観光協会
協賛店

川本町大字因原505-5 [MAP P.12](#)

営業 11:00~19:00 ⑧ 定休 (祝日の場合は翌日)

☎ 0855-72-1111 <L.O. 18:00>



湯谷温泉弥山荘の館内にあるレストラン。この道40年のシェフが栄養バランスにも気を使い、趣向を凝らしたメニューが頂けます。半年に一度のペースで手を加えるというほどり御膳やえごまや石見ポークなどの特産品を使用したオリジナルメニューが人気です。湯上りの一杯やお食事だけのご利用も可。テーブル席のほか、広々とした座敷もご利用頂けます。

湯谷温泉 弥山荘 レストラン弥山荘

観光協会
協賛店

川本町大字湯谷781-2 [MAP P.13](#) 営業 11:00~14:00

17:00~19:30 ⑧ 定休 (祝日の場合は翌日)・大晦日

☎ 0855-72-2645 <L.O. 18:45>



今では町の特産品としてすっかり定着したエゴマを川本町に広めた「川本エゴマの会」の竹下さん夫婦が営む休日カフェ。奥さまの「エゴマのメニューをもっと楽しんでほしい」という思いから、平成29年4月にオープンしました。エゴマの油や葉っぱを使った創作ランチやスイーツ、スムージーなどが愉しめるほか、えごま油の搾油体験なども申し込むことができます。

カフェ えごまの実

観光協会
協賛店

川本町大字三原150 [MAP P.13](#)

営業 予約のみ

☎ 0855-74-0607

やきとり洋子

店主こだわりの芋焼酎2種と旨い焼き鳥各種をご賞味ください。

川本町大字川本541-1

営業 月・火・水・木・金・土 18:00~23:00

日・祭 18:00~22:00 ㊿ 定休

☎0855-72-1288



弓市商店街 その他の お食事処

味道園

オリジナルのタレが絶妙の味わいの老舗焼き肉店。「味道園定食」は、開店以来、多くの人に親しまれています。

川本町大字川本529

営業 11:00~22:00 不定休

☎0855-72-0046



炬ばた焼き 末広

外観の印象とは違って、店内はしっかりとした和風のお店。ホッとする雰囲気と美味しい料理を味わえます。

川本町大字川本636-8

営業 17:00~22:00 ㊿・㊿・㊿ 定休

☎0855-72-0201



カラオケ えんか村 日の出

気さくなご夫婦が出迎えてくれるカラオケ専門店です。有名歌手が訪れることも。

川本町大字川本626-1

営業 13:00~17:00/19:00~22:00 ㊿ 定休

☎0855-72-0453 ※要電話予約



飯田食堂

昭和の食堂の雰囲気が残る店内。しっかりとした味付けが自慢です。

川本町大字川本620

営業 11:00~14:00 不定休

☎0855-72-0412



喫茶K

マスター自慢の自家製カレーがオススメ。落ち着いた店内でコーヒータイムをお楽しみください。

川本町大字川本543-2

営業 8:00~17:00 ㊿ 定休

☎0855-72-0596



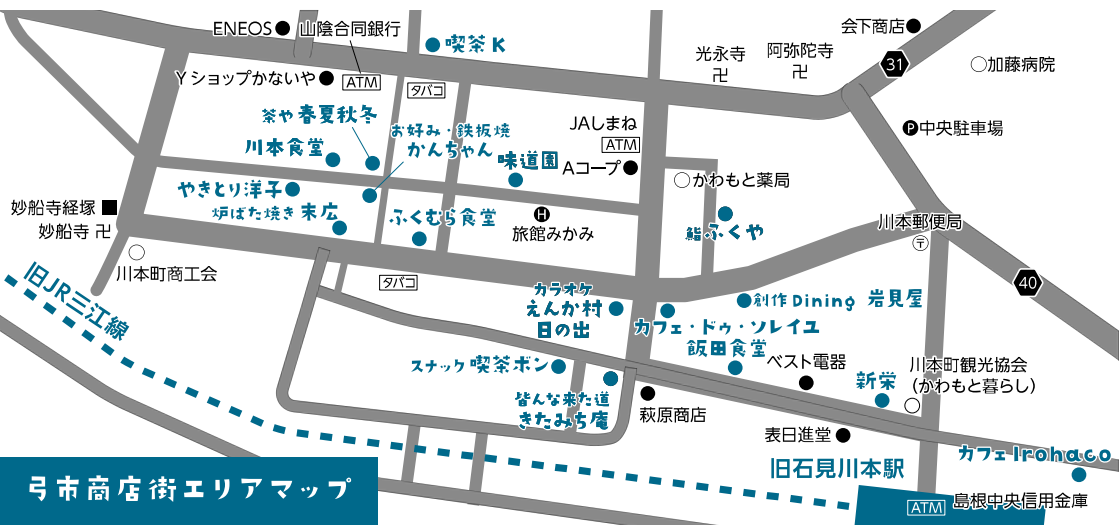
カフェ・ドゥ・ソレイユ

ワンコインランチやスイーツ、ドリンク各種をご用意。様々な種類のカレーやパスタが楽しめます。

川本町大字川本617-9

営業 10:30~14:30 ㊿・㊿・㊿ 定休

☎0855-72-0013





旅館みかみ

大正時代の建物は、昔懐かしい雰囲気そのままに、旬の地元食材を生かした料理をはじめ、館内に飾られた四季折々の花々を楽しみながら、ゆったりとおくつろぎ頂けます。

観光協会
協賛店

川本町大字川本529-6 [MAP P.12](#)

営業/8:00~21:00 不定休 ☎0855-72-0082

◎和室四畳 (1~2名) 1部屋 ◎和室四畳半 (1~2名) 3部屋

◎和室八畳 (2~4名) 3部屋 ※全室バス・トイレ共同



かわもとおとぎ館

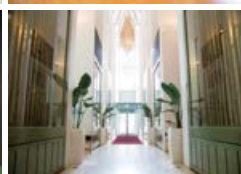
自分だけの時間をゆっくりと楽しめる各部屋バルコニー付きの宿泊施設です。お食事は、本格的なコース料理を愉しめるイタリアンディナー。カラオケルームやトレーニングジム、シュミレーションゴルフなど、館内設備も充実しています。

観光協会
協賛店

川本町大字川本332-13 [MAP P.12](#)

営業/ジム・カラオケなどの施設利用 10:00~20:00

チェックイン 16:00以降 不定休 ☎0855-72-3080





ふれあい公園 笹遊里

ログハウス風のコテージにキャンプ、バーベキュー、グラウンドゴルフなどを満喫できる滞在型公園。春から夏にかけて、ササユリをはじめとした様々な種類のユリを観察できるほか、桜、紫陽花、ラベンダーなどの花々を愉しむことができます。

川本町大字川下3005-2 MAP P.13

営業/8:30~17:00 ㊤ 定休

☎ 0855-72-2450

観光協会
協賛店



農家民泊 やんちゃんの里

農業を営むご夫婦が迎える農家民泊。農業体験・釣り・山菜採り・竹箸づくりなどの田舎体験ができるお宿です。離れでは、囲炉裏を囲んで鍋や焼肉、山の幸をいただくことができます。お土産には、自家製のどぶろくをどうぞ。

川本町大字田窪487 MAP P.13 不定休

営業/7:00~9:00 12:00~13:00 17:00~

☎ 0855-74-0086

観光協会
協賛店



しまね
田舎ツーリズム
竹箸づくり体験 etc.



川本町のエゴマ

川本町といえば、なんといっても健康食品でもあるエゴマの栽培が有名です。その栽培品質は、「エゴマの聖地」と称されるにふさわしいブランド力を誇ります。エゴマの実を搾ってつくるエゴマ油は、普段使いやお土産、贈答用のほか、ふるさと納税の返礼品としても人気があります。メディアに度々取り上げられるなど、希少価値の高い川本町の特産品です。

えごま油



好きなお料理に小さじ1杯（4g程度）を入れて、お召し上がりください。

えごま調味料



エゴマの種子は、プチプチとした食感が好まれ、様々な加工食品と組み合わせで販売されています。

えごま茶



えごま葉パウダー

エゴマの葉には、ロズマリン酸が豊富に含まれており、過剰な免疫反応を正常に戻す働きがあるとされています。エゴマの若葉を乾燥させたエゴマ茶は、ハーブティーのような味わい特徴です。

エゴマには、必須脂肪酸（オメガ3）のひとつであるαリノレン酸が豊富に含まれることから、近年、健康食品として非常に注目されています。αリノレン酸は、体内に摂取されると、DHAやEPAに変化し、血栓を防ぐとともに血中のLDL（悪玉）コレステロール値を低下させ、脳梗塞、心筋梗塞などの血管障害を予防するほか、アレルギー反応を抑制する作用などがあります。

里山のスーパーフード

えごまの加工食品

えごまふりかけ



梅えごまふりかけ

煎りえごま

ふるさとチョイス

あなたの意思をふるさとに

ふるさと納税総合サイト

ふるさと納税については、こちらからどうぞ!

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/32441>

川本町役場 産業振興課 ☎0855-72-0636





道の駅館内には、「猿頭の玉枕」の実物大レプリカのほか、様々な猿グッズが展示・販売されています。

たど考えられています。

猿（バク）の伝説は、中国から日本に伝わり、悪夢をはらうという霊獣として民衆の間に広まりました。時の権力者豊臣秀吉も愛用したとされる「猿の枕」は、古来より「悪夢を喰らい、吉夢を見せる」と云われており、小笠原長隆が室町幕府第10代將軍足利義植から拝領し、長江寺に納められている珍宝「猿頭の玉枕」は、当時としても大変貴重な縁起物だったと考えられています。

川本町のバケ



猿頭ビール

その他の特産品



ツガニ（もくずがに）



杵つき餅



アユ（鮎の甘露煮）



唐辛子（辛味とうがらし）



えごま鴨

川本町産のエゴマを食べて育った栄養満点のえごま鴨は、鴨肉ならではの歯ごたえとジューシーな味わいです。



道の駅 インフォメーションセンター かわもと

国道261号線沿いにある道の駅「インフォメーションセンターかわもと」は、島根県下では22番目の道の駅です。30種類以上のエゴマ関連商品のほか、アユやツガニなどの特産品やスイーツなどのお土産品、酒類や町内外の新鮮野菜が揃います。



川本町大字因原505-5 MAP P.12

営業 / 8:00~19:00 年末年始定休

☎ 0855-72-1111

川本えごはちゃん



発行元

川本町観光協会

〒696-0001

島根県邑智郡川本町大字川本608-1

🌐 <https://kawamoto-kankou.jp>

☎ 0855-74-2345

📠 0855-74-2110

✉ otoiawase@kawamoto-kankou.jp

川本町観光協会

